

日本経営論		教授 谷崎 敏昭	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目、経営・経済コースの専門選択科目	科目ナンバリング	23202201

1. 授業のねらい・概要

戦後日本企業は、培ってきた技術的基盤とアメリカの援助で、高度経済成長を実現し、飛躍的な発展に成功した。官民協調的経済政策で、欧米企業の経営手法とは異なる方法で経営手法を確立させた。形式上は欧米企業と同じ株式会社制度を持っているが、日本の株式会社制度に対する理念や哲学はかなり異なっている。日本の企業を産業別に、グローバル化による経営手法の変化を探ることが、この講義の目的である。

2. 授業の進め方

授業は講義方式で行い、必要に応じてレポートの提出を指示する。

3. 授業計画

1. 日本経営論について（日本的経営）	9. 日本の小売業
2. 官僚制と日本社会	10. 日本の農業経営
3. グローバル化の本質と展望	11. 日本の海洋・航空産業
4. 日本の研究開発	12. 日本のホスピタリティー産業
5. 日本のものづくり（工作機械）	13. 地場産業の経営
6. 日本の金融業	14. 少子化と産業の合理化
7. 日本の流通業	15. 日本経営論の課題
8. 日本の製造業	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

研究室のHP (<http://tyit.blogspot.com/>) にアクセスし指示された項目について1時間程度予習、復習を行うこと。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験終了後に解説を行う。

6. 授業における学修の到達目標

企業がめざしてきた普遍的な日本的経営について理解すると共に、日本の産業の実態を明らかにする。大学卒業後に社会で働く学生にとって必要な、企業にかかわる知識を得ること。さらに変わりゆく日本の企業社会について理解する。

7. 成績評価の方法・基準

試験結果 70%、授業の貢献度 30%。

8. テキスト・参考文献

必要に応じて指示する。

9. 受講上の留意事項

試験ではノートの持込を許可するので、しっかりとまとめておくこと。